

みずほCustomer Desk Report 2017/09/08 号(As of 2017/09/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.19
	GBP/USD	AUD/USD				
TKY 9:00AM	109.16	1.1926	130.18	0.9560	1.3044	0.8009
SYD-NY High	109.26	1.2059	131.09	0.9599	1.3116	0.8049
SYD-NY Low	108.05	1.1915	129.91	0.9495	1.3033	0.7974
NY 5:00 PM	108.42	1.2020	130.41	0.9505	1.3103	0.8045
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.245/9.645	△ 25RR	1.400	Yen Call Over		
NY DOW	21,784.78	▲ 22.86	債券市場	日本2年債	-0.1450	-
NASDAQ	6,397.87	4.55		日本10年債	0.0100	▲ 0.2bp
S&P	2,465.10	▲ 0.44		米国2年債	1.2620	▲ 4.0bp
日経平均	19,396.52	38.55		米国5年債	1.6250	▲ 5.9bp
TOPIX	1,598.24	6.24		米国10年債	2.0387	▲ 6.6bp
シカゴ日経先物	19,325.00	▲ 60.00	為替市況	独10年債	0.3070	▲ 4.0bp
ロンドンFT	7,396.98	42.85		英10年債	0.9720	▲ 3.3bp
DAX	12,296.63	82.09		豪10年債	2.6390	4.0bp
ハンセン指数	27,522.92	▲ 90.84		USD/CNH	6.4865	▲ 0.0543
上海総合	3,365.50	▲ 19.89		ドルインデックス	91.66	▲ 0.63
USDJPY 3M Vol	9.52	0.27%	商品市況	CRB指数	182.868	▲ 0.13
USDJPY 6M Vol	9.74	0.20%		NY金	1,350.30	11.30
EURJPY 3M Vol	9.43	▲ 0.02%		WTI	49.09	▲ 0.07
EURJPY 6M Vol	9.92	0.06%		Dubai Spot	53.18	0.78

東京	東京時間のドル円は109.16レベルでオープン。仲値前に「韓国首相が9日に北朝鮮がミサイルを発射する可能性について言及した」との一部報道を受けて、ドル円は109円台を割り込み108.90まで下落。しかし、影響は一時的なものに留まり、すぐに109円台を回復すると109.20近辺まで反発上昇した。その後はECB理事会を控えて109円台前半で方向感に乏しい展開となり、結局109.07レベルで海外時間に渡った。豪ドルは0.8009レベルで東京時間オープン。その後発表された豪7月貿易収支は黒字額が市場予想に届かず、また同時に発表された豪7月小売売上高が市場予想を下回ったことを受けて、0.7985まで下落した。その後は0.79台後半で揉み合い推移が続き、0.7981レベルで海外市場に渡った。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は109.07レベルでオープン。序盤から米金利が低下し、ECB理事会の金融政策発表を控える中でユーロドルを中心にドルが下落。このドル安の動きにつられドル円は108.83まで下落し、108.88レベルでNYへ渡った。ユーロドルは1.1923レベルでロンドン時間オープン。ECB理事会前に全般的なドル安の流れを背景に1.19台後半まで上昇。ECB理事会は市場コンセンサス通り金融政策を全て据え置き、ドラギECB総裁の記者会見を控えてユーロの動きは限定的となり、1.1974レベルでNYへ渡った。(ロンドン 17:00)
ニューヨーク	海外市場のドル円は上値の重い推移が続き、108.88レベルでNYオープン。朝方発表された米新規失業保険申請件数はハケン・ハービーの影響で大きく予想を上回ったが、ドラギECB総裁の会見を控える市場の反応は限定的。ドラギECB総裁の会見では、「ユーロのポリティティを注視している」と発言するも、明確なレベル等に関する発言が無かったことや、「QEに関する決定の大半は10月に下す」との発言を受け、対ユーロでドル売りが強まるとドル円は下落。米金利も低下する中でドル円は昨年11月15日以来となる108.05まで下落した。しかし、その後米金利が反発したことや、108.00を割り込めなかったことでショートカバーも強まり、ドル円は108.73まで反発。その後は低調な米株を横目に108円台半ば付近での推移が続き、108.42レベルでクロスした。一方、ユーロドルは1.1974レベルでNYオープン。上記ドラギECB総裁の発言に加え、「景気回復がまだ強い物価上昇に結びついていない」とのインフレに対して弱気な発言を受けて独債利回りが低下。しかし、ユーロ高けん制については市場が想定していたほど明確な発言が無かったことから、ユーロドルは1.2059まで急伸。その後も1.20台前半での推移が続き、1.2020レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 西谷・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
9月7日	8:50	対内・対外証券投資	-	-
	10:30	貿易収支	7月 A\$460M	A\$1000M
	10:30	小売売上高(前月比)	7月 0.0%	0.2%
	20:45	ECB理事会 政策金利発表	-	0.00%
	21:30	ドラギECB総裁 会見	-	-
	21:30	新規失業保険申請件数	-	298K
9月8日	1:15	メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	245K

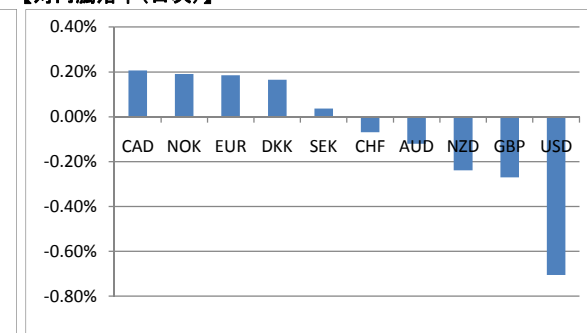
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
9月8日	8:00	ダドリー・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
	8:50	経常収支/貿易収支	7月 ¥2030.1B/¥518.0B	¥934.6B/¥518.5B
	8:50	GDP・確報値(年率前期比)	2Q 2.9%	4.0%
	9:15	ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-
	-	貿易収支	8月 \$48.45B	\$46.73B
	17:30	ロウRBA総裁 講演	-	-
	17:30	鉱工業生産(前月比/前年比)	7月 0.2%/0.4%	0.5%/0.3%
	17:30	製造業生産(前月比/前年比)	7月 0.3%/1.7%	0.0%/0.6%
	17:30	貿易収支	7月 -\$3250M	-\$4564M
	21:45	ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:00	卸売在庫・確報(前月比)	7月 0.4%	0.4%
9月9日	-	北朝鮮 建国記念日	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1950-1.2050	129.60-130.60

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円相場は下落する展開。注目されたECB理事会で政策金利は事前予想通り据え置かれたものの、ドラギECB総裁より「QEに関する決定の大半は10月に下す」との発言が見られると、ユーロ主導でドル売りの流れが進み、ドル円は下落。ハリケーン「イルマ」や北朝鮮リスクが依然として燦々していることもあり、米金利が低下する中でドル円は一時安値となる108.05まで下落した。しかし、108円台は底堅いことが確認されるとやや反発し、108.40近辺でクローズした。本日は底堅い展開を予想する。昨日、年初来安値を更新するも、108円を下抜けることなく持ち直していることを踏まえると、自律反発的に一旦買い戻される流れを考えている。但し、翌日に北朝鮮の建国記念日を控え、北朝鮮リスクが高まる局面があればその限りではなく、引き続き突発的なヘッドラインには注意が必要だろう。